

## 第 29 回国際地図学会議へのご寄附のお願い

2019 年 7 月に東京で開催する第 29 回国際地図学会議（ICC2019）は、国際地図学協会が 2 年（総会は 4 年）ごとに開催する国際会議であり、1962 年の第 1 回から当会議で 29 回目を迎える地図学分野では最も歴史と権威のある国際会議です。この会議の日本での開催は、1980 年の第 6 回の東京大会以来、39 年ぶり 2 回目となります。

地図学は、惑星から地球、そして人間をとりまく身近な空間まで、さまざまなスケールの空間を対象に、地図として効果的に表現する方法を研究する学問です。近年は、地図のデジタル化にともなって一般利用が進み、理論のみならず応用面でも長足の進歩を遂げています。

この度の第 29 回国際地図学会議では、「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」をメインテーマにして、アートと地図、アトラス、地図遺産、子どもと地図、災害地図、地図認知、地図学教育、総描、空間分析、地図史、位置情報サービス、地図デザイン、投影法、視覚障害者向け地図、山岳地図、オープンソース GIS、惑星地図、標準化、センサー利用、地形図作成、地名、ユビキタスマッピング、地図利用、視覚化、などを主要課題として、研究発表と討論、ワークショップや見学会、および地図作品や機器の展示が行われることとなっています。

この会議を日本で開催することは、前回日本で開催された 1980 年以降のデジタル化にともなう地図の先進的な利用方法と、それにとまなう理論的發展を全世界の研究者に大きくアピールすることになります。併せて国内の多方面の関係分野の研究者の参画を促して交流を図る絶好の機会となり、我が国の地図学に関する研究を一層発展させる契機となることが期待されます。会期中には、国際地図展、および国際子ども地図展が併催されることになっており、専門分野のみならず広く一般市民も、最先端の地図の表現技術や諸外国の地図文化に接することができます。メイン会場となる日本科学未来館は、ジオコスモスをはじめとする地図関連の常設展示が行われており、これまでも G 空間 EXPO の会場となるなど、地図・地理空間情報の先端的な学術と技術を紹介するのに最適な場所といえます。

また、地図学に関するアウトリーチ活動として市民公開講座が、「地図とアート」、「地図の日本文化」、「外国人に分かる地図」、「最新のデジタル地図を使う」などのテーマで開催される予定です。地図や地理空間情報に関する技術や研究が身近な生活の中でどのような効果を発揮しているのか、今後どのように発展し未来に役立てていくかについて、広く社会に向けて発信する絶好の機会になるはずです。

国際地図学会議の開催にあたっては、もとより地道な学会運営を行うことを肝に銘じておりますが、2019 年大会の翌年に開催される東京五輪・パラリンピックを前にして各種経費が上昇しつつあることから、参加費のみでの財政運営がきわめて困難な状況にあります。資金面の自助努力を重ねておりますが、関連業界をはじめ本会議の趣旨にご賛同いただき、ご理解下さる方々のご支援をお願いせざるを得ない状況にあります。

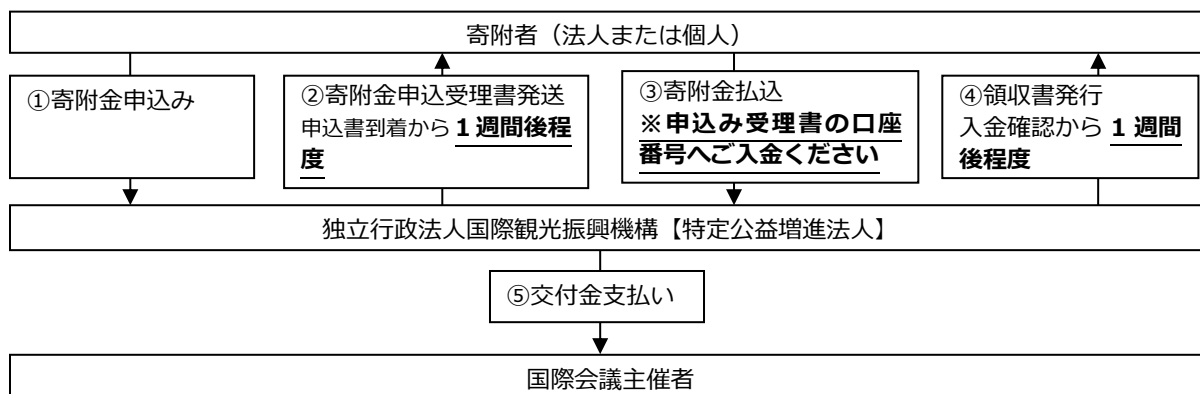
つきましては、誠に恐縮ではございますが、第 29 回国際地図学会議の企画をご理解頂き、ご支援賜りたく、ここに資金寄附を謹んでお願い申し上げる次第です。別紙の開催概要と寄附金募集要項をご高覧の上、ご検討頂けますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

第 29 回国際地図学会議組織委員会  
組織委員長 森田 喬

## 会議の概要と寄附金募集の要項

1. 会議の名称とテーマ  
第 29 回国際地図学会議 「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」
2. 主催・共催機関などの名称  
主催 ICA 日本国内委員会  
共催 日本学術会議  
後援(予定) (国研) 宇宙航空研究開発機構, 海上保安庁海洋情報部, 国土地理院, (一社) 地理情報システム学会, (公社) 東京地学協会, 日本地図学会, (公社) 日本地理学会, など
3. 開催期間 2019 年 7 月 15 日(月)～20 日(土)
4. 開催場所 日本科学未来館, 東京国際交流館プラザ平成
5. 主催責任者 第 29 回国際地図学会議組織委員会  
委員長 森田 喬 (法政大学名誉教授)  
事務局 〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8 階  
株式会社 アイ・エス・エス 営業統括部 コンベンショングループ内  
電話: 03-6369-9984  
ファックス: 03-3453-1180  
E-mail: [icc2019@issjp.com](mailto:icc2019@issjp.com)  
Website: <http://www.icc2019.org/>
6. 参加予定国・人数  
世界約 50 カ国・地域より 500 名、国内 600 名を合わせて合計 1,100 名を予定
7. 募金予定額  
参加費等の収入予定総額約 8,000 万円。そのうち寄附金として 1,000 万円を予定
8. 募金の名称 第 29 回国際地図学会議寄附金
9. 寄附金申込先とその方法  
独立行政法人国際観光振興機構コンベンション誘致部交付金担当  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1  
電話: 03-6691-4850 ファックス: 03-6691-8787
  - (1) 寄附金振込方法  
別紙のフローチャート通りとなります。  
別紙申込書を国際観光振興機構にお送りください。  
寄附金申込書を受領し確認次第、国際観光振興機構より寄附金申込受理書を送付いたします。寄附金申込書受理書を受領後、指定口座番号にお振込ください。
  - (2) 税法上の扱い  
この寄附金は、特定公益増進法人である独立行政法人国際観光振興機構への寄附金として、税法上の一般寄附金とは別途に損金算入等の優遇措置が講ぜられます。
  - (3) 寄附の顕彰  
一定額以上のご寄附をいただいた方は、ご了承を得て WEB サイトに掲載いたします。

# 第 29 回国際地図学会議/The 29th International Cartographic Conference



## ① 寄附金の申込み

寄附金申込書（様式第 5 号）に必要事項を記入し、当機構宛てにご郵送、FAX、またはメール(申込書をスキャンして添付)にてお送りください。

**※申し込みをされてから、すぐにご入金いただけるわけではございません。申込書の受領後、1 週間～10 日ほどお時間がかかりますので、ご注意ください。**

(記入内容に押印不足等の不備がある際は申込書を返送し、修正したものを改めてお送りいただきますのでご了承ください)

申込書送付先：〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 4 階

独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部 誘致推進グループ 担当：鈴木・大西・康（こう）

TEL：03-6691-4852

FAX：03-6856-1330

e-mail：cvnews@jnto.go.jp

## ② 寄附金申込受理書の発送

前記の寄附金申込書を受領し確認次第、当機構から寄附金申込受理書（様式第 6 号）を送付いたします。

受理書に記載されている寄附金払込み口座宛に寄附金のご入金をお願い致します。

**※受理書の発行には 1 週間～10 日ほど時間がかかりますので、入金日にご注意いただくようお願いいたします**

## ③ 寄附金の払込み

振込先口座の情報は寄附金受理書に記載してありますので、寄附金は**必ず当機構指定の寄附金払込み口座宛**にお振り込み頂くようお願い致します。(振込手数料は寄附者様にてご負担ください。)

**※申込書をお送りいただいても、当機構指定口座以外へのご入金は、課税優遇措置の対象外となりますので、ご了承ください**

**お振込は、会議開催日の前、2019 年 7 月 12 日（金）まで**にお願いします。

注) 銀行間の為替記号では、独立行政法人は「ドク」となるため、お振込の際は「ドク」コウケンゴウケンゴウケンゴウケンゴウとご記載下さるようお願いいたします。

## ④ 領収書の送付

ご入金を確認され次第、当機構は領収書（様式第 7 号）を発行・送付いたします。領収書は大切に保管して下さい。

お振込み頂きました寄附金につきましては、特定公益増進法人に対する寄附金として所得税法および法人税法上、課税優遇措置がつけられます。

なお、国際観光振興機構は所得税法施行令第 2 1 7 条、法人税法施行令第 7 7 条の特定公益増進法人の「1 号法人」に指定されておりますため、所轄官庁発行の「証明書」はございません。

## ⑤ 交付金の支払い

寄附金は、当機構から主催者に交付金 として交付します。

# 寄附金申込書

年 月 日

独立行政法人国際観光振興機構  
理事長 殿

寄附申込者〔 法人 個人 〕

※法人か個人か○で囲んでください。

ふりがな

名 称

住 所 〒

ふりがな

氏 名

印

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律(平成6年法律第79号)の趣旨に賛同し、同法第9条に定める業務に供するため、貴振興機構に下記の金額を寄附いたします。

## 記

1 寄 附 額 円也

2 寄附金の希望使途 「第29回国際地図学会議」  
開催費用として

3 寄附金の支払予定日 年 月 日

(備考/連絡先)

ご担当者氏名・役職

TEL/FAX

Email